

# 水の大切さを伝えたい



2020ミス日本「水の天使」

なかむら まゆ  
**中村 真優**

私は自然豊かな環境の中で学生時代を過ごしました。小学校時代には、通学路にある小川でメダカやザリガニを観察したり、水たまりに足を突っ込み泥まみれで帰宅し、母によく怒られていたことを今でも思い出します。水にまつわる思い出を思い返すたびに、「水の天使」に選んでいただけたご縁を感じています。

高校時代はドイツへ留学し、ホストファミリーと川沿いを散歩したり、サイクリングをして過ごしました。休日は専ら友人とライン川で川下りなどのアクティビティを楽しみました。私の人生において「水」にまつわる思い出は欠かすことが出来ないものです。

ですが、ある出来事をきっかけに、日本の水について考えるようになりました。その出来事は、留学先のドイツにきて一日目のことでした。喉が渴いたと蛇口をひねると濁った水が出たのです。ドイツでは前日に雨が降ると水が濁ってしまい、夏場は新鮮な水が出ないそうです。



水の日をPR

蛇口から出る水は透き通っていて綺麗が当たり前で日本で暮らしていた私にとって、大変ショッキングな出来事でした。その水を飲んでみると、ゴクゴクと身体に水が染み渡る感覚はなく、日本の水が恋しかったことを覚えています。

その後も、ドイツの硬水が身体に合わず、髪質が変わってしまったり、肌の調子が悪くなってしまったりなど、留学中は水による不調に悩まされました。この経験から、水は人間が健やかに生きるために欠かすことができないものであり、蛇口から綺麗で新鮮な水が出ることは当たり前ではないと気付かされたのです。

水は、365日、どんな時でも止めることなく働いてくださっている上下水道に関係する方々の努力の賜物なのです。私は、日本の水資源の豊かさや、それを支える技術を伝承するだけでなく、このように私たちの生活を支えている人たちの働きも、次世代を担う子供達に伝えていきたいです。



みなかみスノーシューフェスティバル